

2016年3月期決算説明会資料

株式会社島津製作所

代表取締役社長 上田輝久

2016年3月期/ 損益計算書

- * 3期連続で増収増益
- * 売上高から純利益まで過去最高を更新
- * 営業利益率は10%を超過、営業利益とともに中期経営計画を1年前倒しで達成

単位: 億円, 除く営業利益率・EPS

	損益計算書		前期比	
	2016.3期	2015.3期	額	率
売上高	3,422	3,147	275	8.7%
営業利益	357	272	85	31.3%
営業利益率	10.4%	8.6%	1.8%p [°] 向上改善	
経常利益	348	284	64	22.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	239	184	55	29.6%
EPS	¥81.05	¥62.55	¥18.50	29.6%

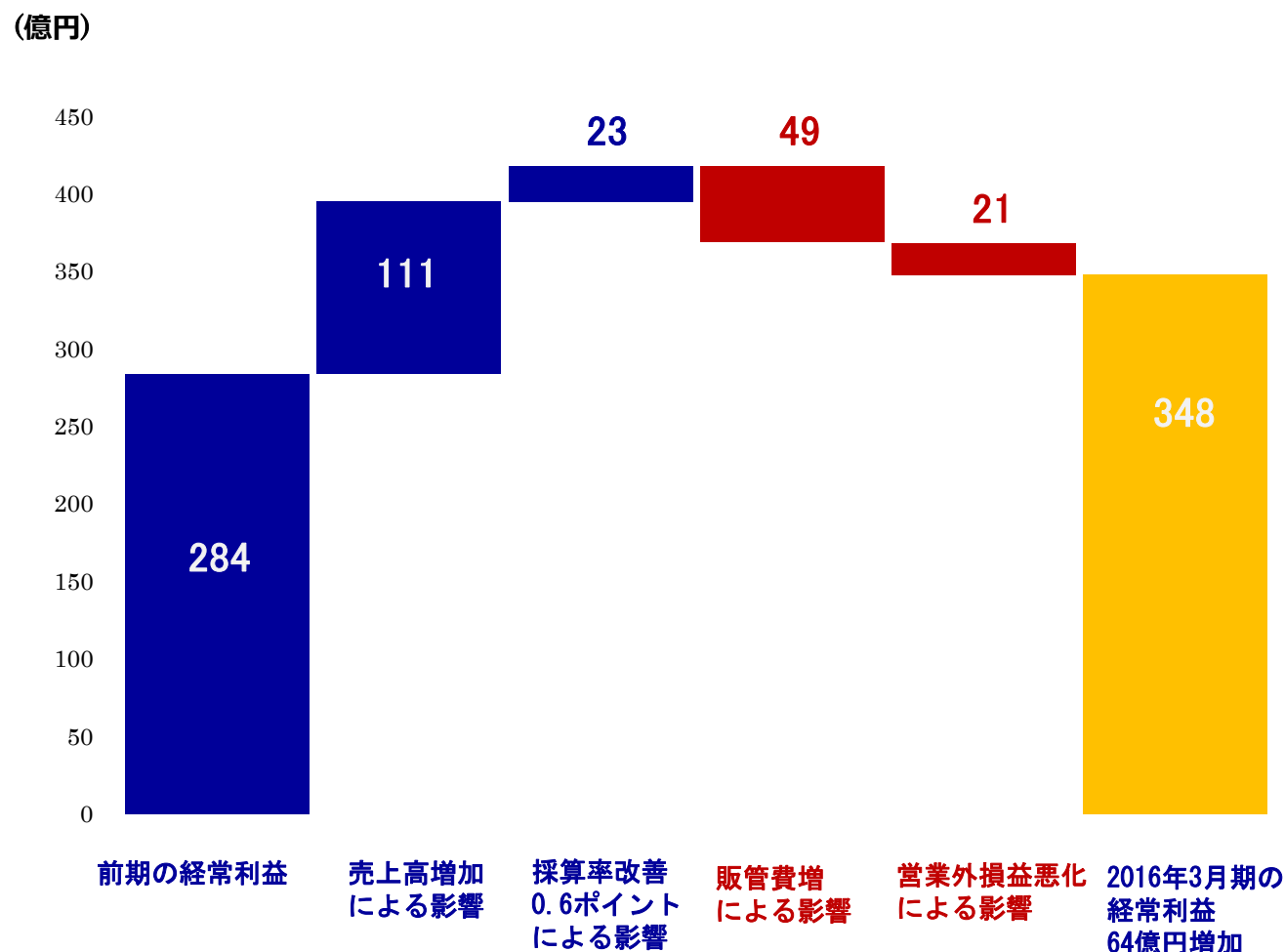
■ 年間期中平均為替レート

2015.4.1 - 2016.3.31: \$1 = ¥120.19, €1 = ¥132.63

2014.4.1 - 2015.3.31: \$1 = ¥109.98, €1 = ¥138.80

2016年3月期/ 対前期経常利益増減解析

- * 売上高増及び採算率改善により売上総利益は134億円増加
- * 販管費は49億円増加したものの、販管費比率は前期比1.2ポイント改善
- * 営業外損益は円高影響等で21億円悪化した結果、経常利益は64億円増加



2016年3月期/ 事業セグメント別収益

- * 全事業セグメントで増収
- * 計測機器が牽引、計測機器の営業利益率は15.8%に上昇
- * 航空機器の収益が改善し黒字に転換

単位: 億円

各欄の右側は営業利益率		セグメント別損益				前期比		
		2016.3期		2015.3期		額	率	
計測機器	売上高	2,084	15.8%	1,926	13.9%	158	8.2%	1.9pt.
	営業利益	330		268		62	23.0%	改善
医用機器	売上高	646	1.6%	594	2.4%	52	8.7%	0.8pt.
	営業利益	10		14		(4)	(27.3)%	悪化
航空機器	売上高	288	1.2%	248	(9.2)%	40	16.1%	10.4pt.
	営業利益	3		(23)		26	—	改善
産業機器	売上高	335	6.6%	310	6.3%	25	8.2%	0.3pt.
	営業利益	22		20		2	12.2%	改善
その他	売上高	69	15.4%	69	16.0%	0	0%	0.6pt.
	営業利益	13		13		(1)	(3.9)%	悪化
営業利益調整額		(21)	—	(20)	—	(1)	—	
合計	売上高	3,422	10.4%	3,147	8.6%	275	8.7%	1.8pt.
	営業利益	357		272		85	31.3%	改善

2016年3月期/ 地域別売上高構成

- * 全ての地域で増収
- * 日本・欧州・その他のアジアが好調に推移
- * 海外売上高比率は50.9%、初めて50%を超過

単位: 億円

	売上高		前期比	
	2016.3期	2015.3期	額	率
日本	1,679	1,579	100	6.4%
米州	460	426	34	8.1%
内北米	411	357	54	15.1%
欧州	273	262	11	4.2%
中国	561	509	52	10.3%
その他のアジア	323	255	68	26.8%
その他	125	116	9	7.4%
海外合計	1,743	1,568	175	11.1%
海外売上高比率	50.9%	49.8%	1.1ポイント増	
合計	3,422	3,147	275	8.7%

*「その他のアジア」は日本・中国を除くアジア地域の総売上高。

*「その他」は中近東・オセアニア・アフリカの総売上高。

2016年3月期/ 計測機器サブセグメント売上高

- * 計測機器の売上高は2,000億円を超え、規模の拡大が持続
- * 主力のクロマトグラフ・質量分析計が伸び計測機器全体を牽引
- * 環境分析機器はアジア地域で、また試験機は日本で拡大
- * サービス事業は前期比13%増加、サービス比率は27%を超えた

単位: 億円

	売上高		前期比	
	2016.3期	2015.3期	額	率
汎用分析機器	1,364	1,229	135	11.0%
内LC・GC・MS	1,089	977	112	11.5%
表面分析機器	102	103	(1)	(0.7)%
環境分析機器	110	105	5	4.3%
試験機・非破壊検査機器	203	194	9	5.0%
その他	305	295	10	3.2%
合計	2,084	1,926	158	8.2%
内アフターマーケット事業	574	510	64	12.6%

2016年3月期/ 計測機器セグメント地域別売上高

- * 国内外で堅調に推移
- * 日本では民需増が、また中国・その他のアジアでは官公需増が業績拡大に貢献
- * 海外売上高比率は、前期比1.7ポイント増の58.2%に上昇

単位: 億円

	売上高		前期比	
	2016.3期	2015.3期	額	率
日本	870	838	32	3.8%
米州	255	246	10	3.9%
内北米	221	203	18	9.0%
欧州	224	214	10	5.0%
中国	435	378	57	15.1%
その他のアジア	232	182	50	27.6%
内インド	85	67	18	27.7%
その他	67	69	(2)	(2.9)%
海外合計	1,214	1,088	126	11.6%
海外売上高比率	58.2%	56.5%	1.7ポイント増	
合計	2,084	1,926	158	8.2%

2016年3月期/ 医用機器サブセグメント売上高

* 2期ぶりに過去最高売上高を更新

* X線TVシステム・一般撮影装置が拡大を牽引

単位: 億円

	売上高		前期比	
	2016.3期	2015.3期	額	率
X線TVシステム	178	157	21	13.4%
血管撮影システム	60	62	(2)	(4.3)%
一般撮影装置	247	224	23	10.0%
X線装置合計	484	443	41	9.2%
その他	162	151	11	7.3%
合計	646	594	52	8.7%

2016年3月期/ 医用機器セグメント地域別売上高

- * 中国は低調であったものの、それ以外の全ての地域で堅調に推移
- * 特に、日本・北米・その他のアジアが拡大を牽引
- * 海外売上高比率は、前期比1.1ポイント増の48.9%に上昇

単位: 億円

	売上高		前期比	
	2016.3期	2015.3期	額	率
日本	330	310	20	6.3%
米州	108	101	7	7.0%
内北米	93	75	19	25.2%
欧州	37	36	1	4.1%
中国	61	61	0	0.4%
その他のアジア	54	40	14	36.1%
その他	55	46	9	19.7%
海外合計	316	284	32	11.4%
海外売上高比率	48.9%	47.8%	1.1ポイント増	
合計	646	594	52	8.7%

2016年3月期/ 航空機器サブセグメント売上高

- * 防衛分野・民間航空分野ともに好調に推移
- * 民間航空機向け売上比率は20.7%に拡大

単位：億円

	売上高		前期比	
	2016.3期	2015.3期	額	率
防衛	229	201	28	13.8%
民間航空機	60	47	13	25.8%
合計	288	248	40	16.1%

2016年3月期/ 産業機器サブセグメント売上高

*ターボ分子ポンプは、半導体・FPD分野の活発な投資を背景に好調に推移

*油圧機器は、市況が停滞するなか中国等で減少、一方日本では増収

単位: 億円

	売上高		前期比	
	2016.3期	2015.3期	額	率
ターボ分子ポンプ	107	96	11	11.2%
油圧機器	114	114	0	0.4%
工業機器	49	41	8	18.8%
その他	65	59	6	11.2%
合計	335	310	25	8.2%

2016年3月期/ 産業機器セグメント地域別売上高

* 日本の拡大が全体の伸びを牽引

* 北米では半導体向けにターボ分子ポンプが堅調に推移、中国ではガラスコーティング向けのターボ分子ポンプ及び油圧機器が厳しく推移

単位: 億円

	売上高		前期比	
	2016.3期	2015.3期	額	率
日本	182	160	21	13.3%
米州	42	35	7	21.2%
内北米	41	35	7	19.3%
欧州	8	10	(3)	(27.0)%
中国	65	70	(5)	(7.2)%
その他のアジア	36	33	3	9.8%
その他	3	1	1	×2.2
海外合計	153	149	4	2.8%
海外売上高比率	45.8%	48.2%	2.4ポイント減	
合計	335	310	25	8.2%

2016年3月期/ 貸借対照表

- * 総資産は100億円増加
- * 負債合計は、前期末と同水準を維持、但し有利子負債は減少
- * 自己資本が増加、自己資本比率は前期末より1.1ポイント拡大し62.8%

単位: 億円, 除く自己資本比率

	資産の部		前期比	
	2016.3.31	2015.3.31	額	率
流動資産	2,417	2,348	69	2.9%
棚卸資産	737	749	(12)	(1.6)%
固定資産	1,081	1,050	31	3.0%
資産合計	3,498	3,398	100	2.9%

	負債の部		前期比	
	2016.3.31	2015.3.31	額	率
流動負債	976	1,006	(30)	(3.0)%
固定負債	322	292	30	30.7%
有利子負債	192	247	(55)	(22.4)%
負債合計	1,298	1,298	0	0.0%

	純資産の部		前期比	
	2016.3.31	2015.3.31	額	率
自己資本	2,197	2,098	99	4.7%
非支配株主持分	3	2	1	11.7%
総資本	3,498	3,398	100	2.9%
自己資本比率	62.8%	61.7%	1.1ポイント増加	

2016年3月期/ キャッシュフロー計算書

- * フリーキャッシュフローは192億円のプラス、また長短借入金の返済等で財務キャッシュフローは117億円の支出
- * 当期末の現金・現金同等物は、前期末比51億円増の435億円

単位: 億円

	キャッシュフロー計算書		前期比 額
	2016.3期	2015.3期	
営業キャッシュフロー	323	402	(79)
投資キャッシュフロー	(131)	(157)	26
フリーキャッシュフロー	192	246	(54)
財務キャッシュフロー	(117)	(332)	215
現金・同等物に係る換算差額	(25)	24	(49)
現金・同等物の増減額	51	(62)	113
現金・同等物に係る期首残高	384	439	(55)
現金・同等物に係る期末残高	435	384	51

2017年3月期/ 事業環境見通し

日本	<p>企業設備投資の緩やかな増加基調を予想 〈リスク〉 海外市況の下振れや円高による企業投資マインドの減退等</p>
米国	<p>堅調な経済のもと、ヘルスケア・バイオ等最先端分野での投資継続を予想 〈リスク〉 製造業の停滞感による企業投資マインドの減退等</p>
欧州	<p>製薬・食品安全・化学等の民需分野での堅調な投資を予想 〈リスク〉 中国景気停滞の余波、中東に起因する地政学的要因による景気への影響等</p>
中国	<p>製薬・食品安全、「第13次五ヶ年計画」での環境保全、また最先端分野での研究開発投資などでの需要増を予想 〈リスク〉 余剰設備調整の長期化、景気の一段の下振れ等</p>
アジア	<p>インド経済の拡大、アセアンでのAEC(アセアン経済共同体)発足や中間層拡大に起因する安定的拡大を予想 〈リスク〉 中国景気停滞の余波、通貨安にともなう影響等</p>

2017年3月期/ 業績予想

- * 新製品の投入やアフターマーケット事業の強化などで増収・増益を計画
- * ハイエンド製品の拡大やコストダウンで中期計画目標の営業利益率10%以上を目指す

単位: 億円, 除く営業利益率・EPS

	損益計算書		前期比	
	2017.3期予想	2016.3期	額	率
売上高	3,500	3,422	78	2.3%
営業利益	360	357	3	0.8%
営業利益率	10.3%	10.4%	0.1%ポイント悪化	
経常利益	345	348	(3)	(1.0)%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	240	239	1	0.4%
EPS	¥81.40	¥81.05	¥0.35	0.4%

■ 年間期中平均為替レート

2016.4.1 - 2017.3.31 想定: \$1 = ¥ 110.00, €1 = ¥ 125.00

2015.4.1 - 2016.3.31 : \$1 = ¥ 120.19, €1 = ¥ 132.63

2017年3月期/ 事業セグメント別業績予想

- * 営業利益率10%以上の収益基盤の確立を目指す
- * 計測機器及び医用機器で持続的な成長を計画
- * また医用機器では収益性改善を、航空機器では収益安定化に取り組む

単位: 億円

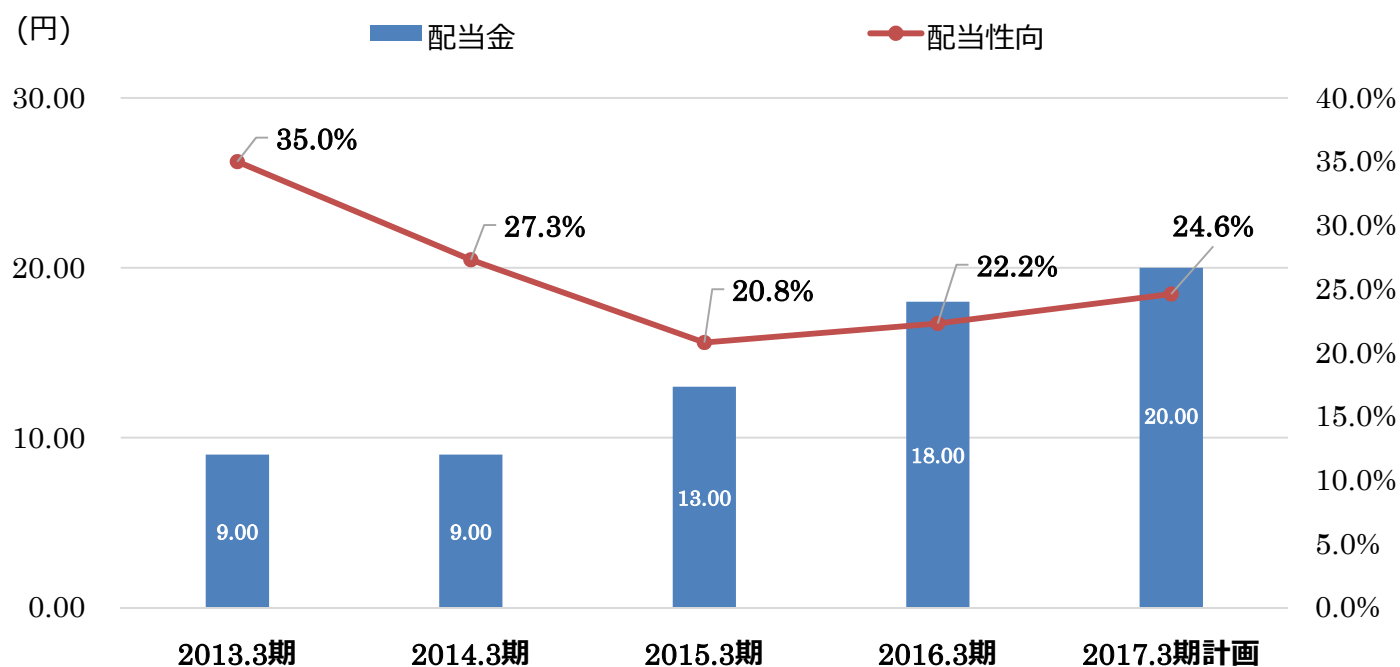
各欄の右側は営業利益率		セグメント別損益				前期比		
		2017.3期予想		2016.3期		額	率	
計測機器	売上高	2,180	15.4%	2,084	15.8%	96	4.6%	0.4pt.
	営業利益	335		330		5	1.6%	悪化
医用機器	売上高	665	3.8%	646	1.6%	19	3.0%	2.2pt.
	営業利益	25		10		15	×2.4	改善
航空機器	売上高	260	1.2%	288	1.2%	(28)	(9.9)%	不変
	営業利益	3		3		0	—	
産業機器	売上高	330	5.5%	335	6.6%	(5)	(1.5)%	1.1pt.
	営業利益	18		22		(4)	(18.4)%	悪化
その他	売上高	65	12.3%	69	15.4%	(4)	(5.0)%	3.1pt.
	営業利益	8		13		(5)	(36.8)%	悪化
営業利益調整額		(29)	—	(21)	—	(8)	—	
合計	売上高	3,500	10.3%	3,422	10.4%	78	2.3%	0.1pt.
	営業利益	360		357		3	0.8%	悪化

2017年3月期/ 配当金・配当性向

* 安定的配当の実施を継続

* 2017.3期の一株当たり配当金は、前期より2円増配の年20円を計画
(配当性向は24.6%になる予定)

	2017.3期	2016.3期	YoY
一株当たり配当金	¥20.00	¥18.00	¥2.00
配当性向	24.6%	22.2%	2.2ポイント増



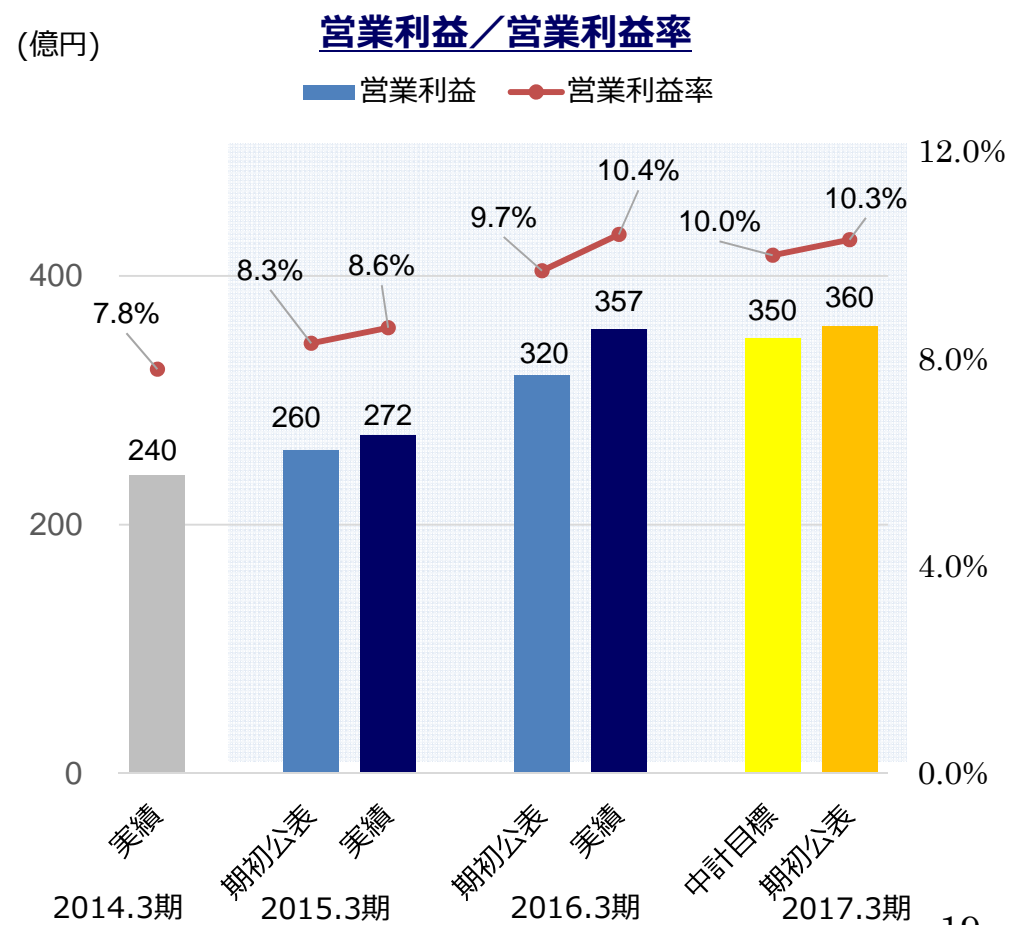
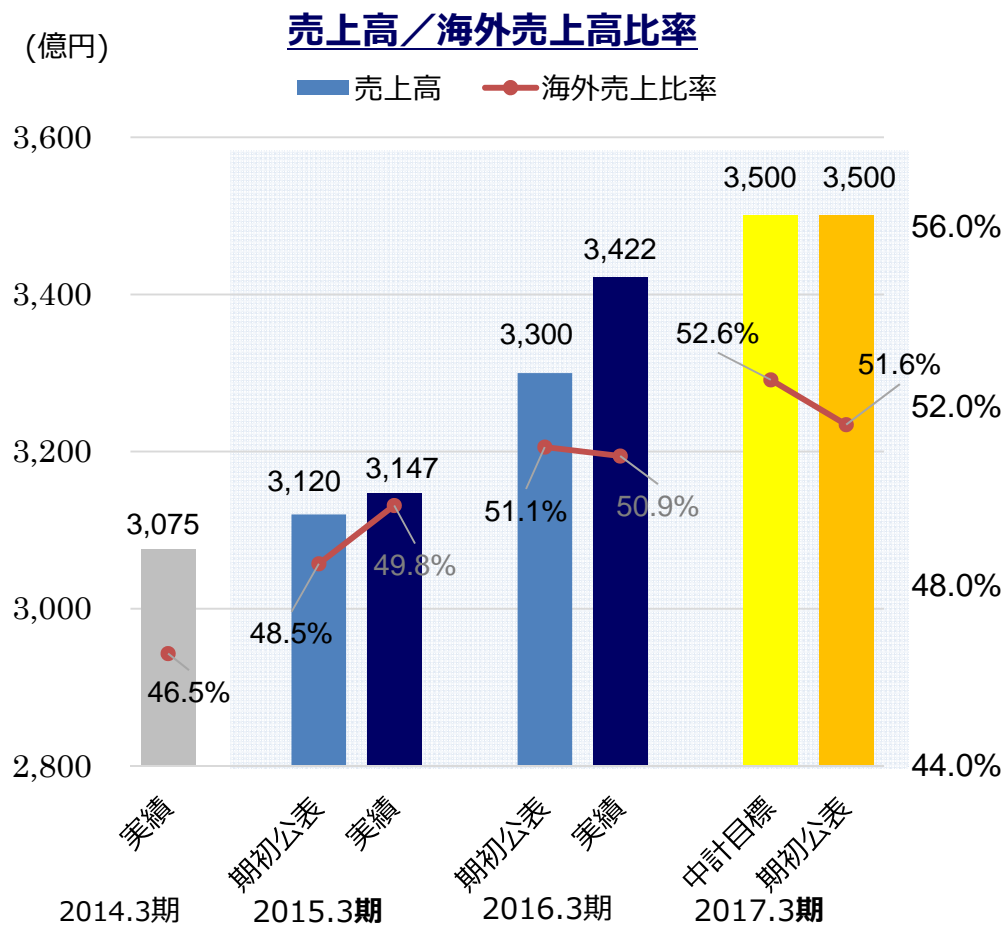
1. 業績目標	p.19
2. 成長戦略	p.20
I 高度な技術と潜在ニーズを結実させた商品による市場の活性化	p.20
質量分析計	
液体クロマトグラフ	
医用機器	
II 先進的な顧客との共同研究の拡充による新分野への展開	p.23
III 新興国市場での成長力を確実に取り込むための事業基盤の構築	p.24
IV 商品のライフサイクルをにらんだ顧客にとって最適なサービスの提供	p.25
3. 目標達成に向けた当期の主要施策	p.26

中期経営計画の進捗 〈1〉

TOPICS

－業績目標－

- * 初年度・2年度は堅調に推移、3年度の仕上げに向け力強く展開
- * 売上高は2017年3月期目標に近づき、営業利益は1年前倒して超過達成
- * グローバル戦略製品の拡大など、計測機器を中心に収益性の向上が進展



中期経営計画の進捗 〈2〉

TOPICS

－ 成長戦略 I / 質量分析計

- * 2010年よりTQ-LCMSを4機種連続投入、普及機から高級機までラインアップを拡充
- * 質量分析計の売上高は順調に拡大、2016年3月期には中期計画目標332億円近くに拡大
- * 2016年3月にはICPMSを新たに投入、質量分析計の持続的な成長を目指す

LCMS

- 超高感度性能・高速性能により、ペインマネジメントや臨床等の新たな分野を開拓



GCMS

- 食品・環境・化学・法医学に加えて、ヘルスケアや新たな規制物質の分析など分野が拡大

大腸がん診断、ダイオキシン分析、
RoHS指令・REACH規制の対象
物質の分析



ICPMS

- 微量元素分析を高感度に行う、アルゴンガス使用量を抑さえ低ランニングコストも実現

水質分析、医薬品中の元素不純物析、
食品中の微量有害元素分析



MALDIMS

- 微生物同定向けに拡大
- 最高水準の分解能を実現したMALDI-7090、
大学等の研究分野で高評価



中期経営計画の進捗 〈3〉

TOPICS

－成長戦略 I / 液体クロマトグラフ－

- * 使いやすさを追及し、作業効率を向上させた一体型高速液体クロマトグラフ “i-Series” が拡大
- * 残留農薬分析などで、煩雑な前処理なしに全自動かつ高速での分析を実現した超臨界流体クロマトグラフシステム “Nexera UC” も好調に推移
- * 液体クロマトグラフの売上高は、2016年3月期に中期計画目標540億円を1年前倒しで超過

i-Series

- 使いやすさを追求し作業効率を向上させた一体型高速液体クロマトグラフ
- 専用アナライザーとしても展開

インド・米・欧・中の海外を中心に、グローバルに拡大中



Nexera X2

- スピード・感度・分離能・安定性の高い性能を備えた超高速タイプの液体クロマトグラフ

医薬・生化学・化学・環境・食品など広範な分野で活躍



Prominence

- 高い信頼性と拡張性を持つ汎用的な高速液体クロマトグラフ

医薬・生化学・化学・環境・食品など広範な分野で活躍



Nexera UC

- 煩雑な前処理なしに全自動かつ高速での分析を実現した超臨界流体クロマトグラフシステム

製薬・食品・化学・環境・法医学の分野でスループット向上に貢献



中期経営計画の進捗 〈4〉

TOPICS

－成長戦略 I / 医用機器－

- * 戦略製品のX線TVシステム・血管撮影システムのグローバル展開を加速
- * マンモPET・近赤外蛍光イメージング機器を投入、治療分野での事業展開を強化

X線TVシステム

- 幅広い診断科ニーズに対応したアプリケーションを搭載、多目的検査対応で診断効率を向上

骨密度測定、140cmの長尺撮影、断層撮影、寝台可動の工夫など多様なアプリケーションで、消化器科・整形外科・泌尿器科の検査を1台で実現



血管撮影システム

- 低侵襲（低被曝・造影剤減少・短時間）、画像処理による高画質、また最新臨床アプリケーションをグローバルに展開



オンリーワン製品

- 乳がん診断・治療支援の新たなアプローチを提供



新規事業：術中支援装置

- 近赤外蛍光を活用した新たなイメージング機器を術中支援に展開

蛍光薬剤で血管・リンパ管を可視化、手術効率の向上を実現



中期経営計画の進捗 〈5〉

TOPICS

－成長戦略 II－

「先進的な顧客との共同研究の拡充による新分野の展開」

－イノベーションセンターをコアに、先進的顧客との共同研究を推進、先進アプリケーションの開発と新分野での展開を加速－

米 国

■ 臨床/医薬/環境

ジョンズ ホプキンス大学

FDAの規制強化に備えた検査キットの開発等

中 国

■ 食品/環境/臨床

中国科学院・北京大学・精華大学・天津中薬大学

薬物・代謝物・脂質等の動態観察アプリの開発等

欧 州

■ 食品/コンポジット/イメージング/臨床

メッシーナ大学(伊)

食品中の機能性成分の分析システムの開発等

ア ジ ア

■ 環境/食品安全/ヘルスケア

シンガポール大学

臨床・食品安全分野での先端的開発等(協議中)

日 本

■ 食品/ライフサイエンス/臨床/医薬

大阪大学共同研究講座

メタボローム解析のプラットフォームの確立等

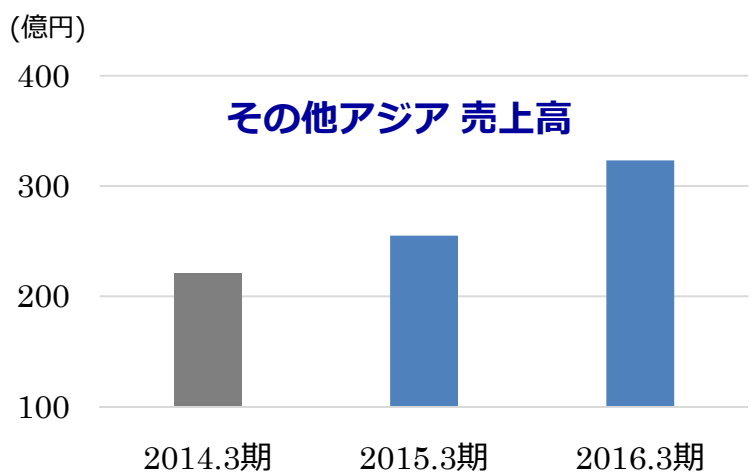
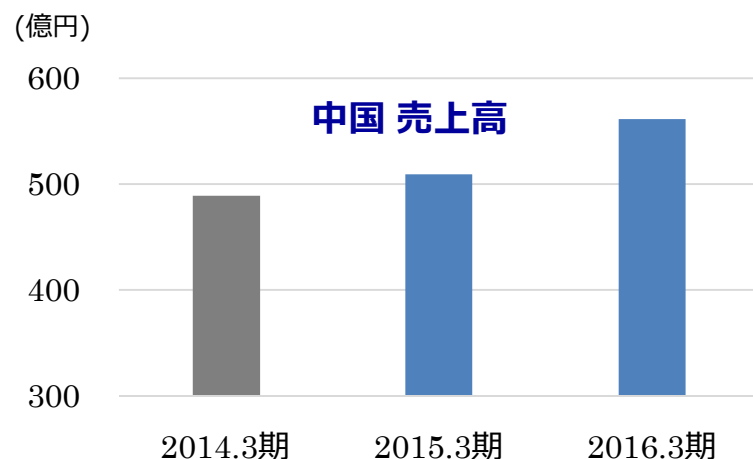


中期経営計画の進捗 〈6〉

TOPICS

－成長戦略 III－

「新興市場での成長を確実に取り込むための事業基盤の構築」 －アジア市場戦略の展開－



■製品開発力の強化

- * 中国開発センターでの現地開発
- * 東南アジアの先端的大学との共同研究

■アプリケーション開発機能の強化

- * 中国北京の質量分析センター(2015年10月)

■ネットワーク化対応の強化

- * アジアイノベーションセンター(2016年秋予定)

■製造機能の拡大

- * マレーシアの新工場
(2016年9月出荷予定)
- * 中国蘇州工場の中国開発
製品の生産拡大



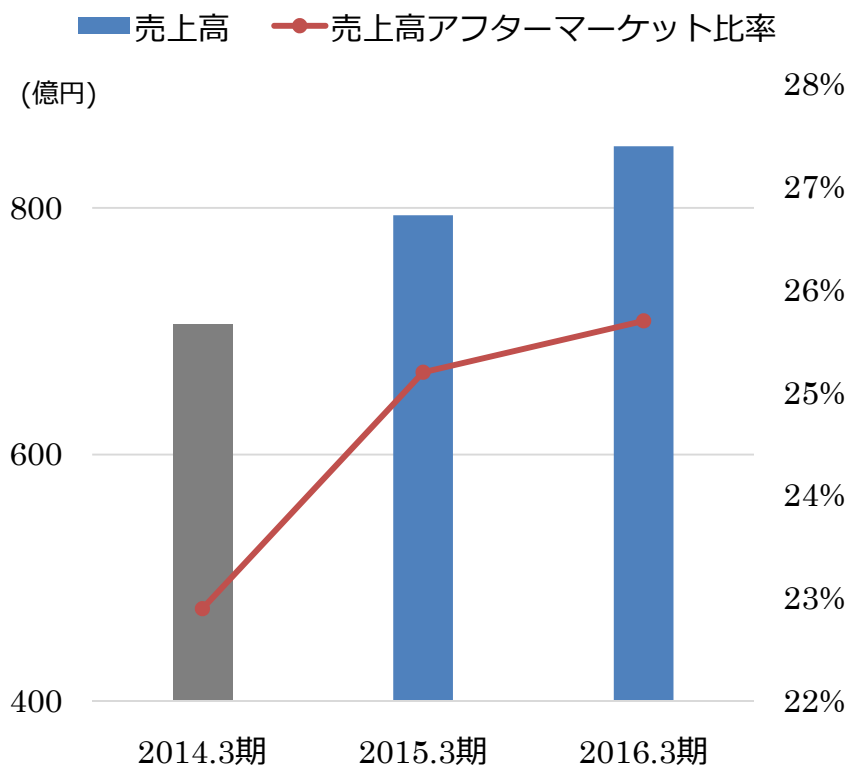
中期経営計画の進捗 〈7〉

－成長戦略Ⅳ－

TOPICS

「商品ライフサイクルをにらんだ顧客にとって最適なサービスの提供」 －アフターマーケット事業の推進－

アフターマーケット事業売上高



■計測機器

- * 製品のリモート機能の強化(計測機器のM2M促進)
- * マルチベンダーサービスの強化
- * 自社ブランドの消耗品の拡充

■医用機器

- * 米国・中国・アジアでのサービス事業の拡大
- * 迅速な部品供給体制の構築

■産業機器

- * ターボ分子ポンプのサービス拠点をグローバルに整備、アフターマーケット事業を拡大

中期経営計画の進捗 〈8〉

TOPICS

－ 目標達成に向けた当期の主要施策－

新製品

- **計測機器** : 製薬・化学・食品・環境・ヘルスケア分野のグローバルニーズを反映した製品ラインアップを拡充
- **産業機器** : ボールベアリング型製品を拡充、より広範な分野にターボ分子ポンプを供給

ソフト・アプリケーション

- **計測機器** : 米・中・欧・亜のイノベーションセンターをコアに、世界各地の規制やニーズに対応したソフト・アプリケーションの開発を促進
- **医用機器** : 多目的検査や手術支援等の臨床アプリケーションを充実

アフターマーケット

- **計測機器** : M2Mを活用した新たなサービスをグローバルに展開
- **航空機器** : 民間航空機分野でのアフターマーケット事業の強化
- **産業機器** : ターボ分子ポンプのアフターマーケット事業の拡大

新規事業

- **計測機器** : 分子診断事業(大腸がん検査システム・迅速病理診断支援システム等)及び細胞解析事業を推進
- **医用機器** : 術中支援に向け近赤外蛍光イメージング装置を投入、診断分野での事業展開を強化



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。